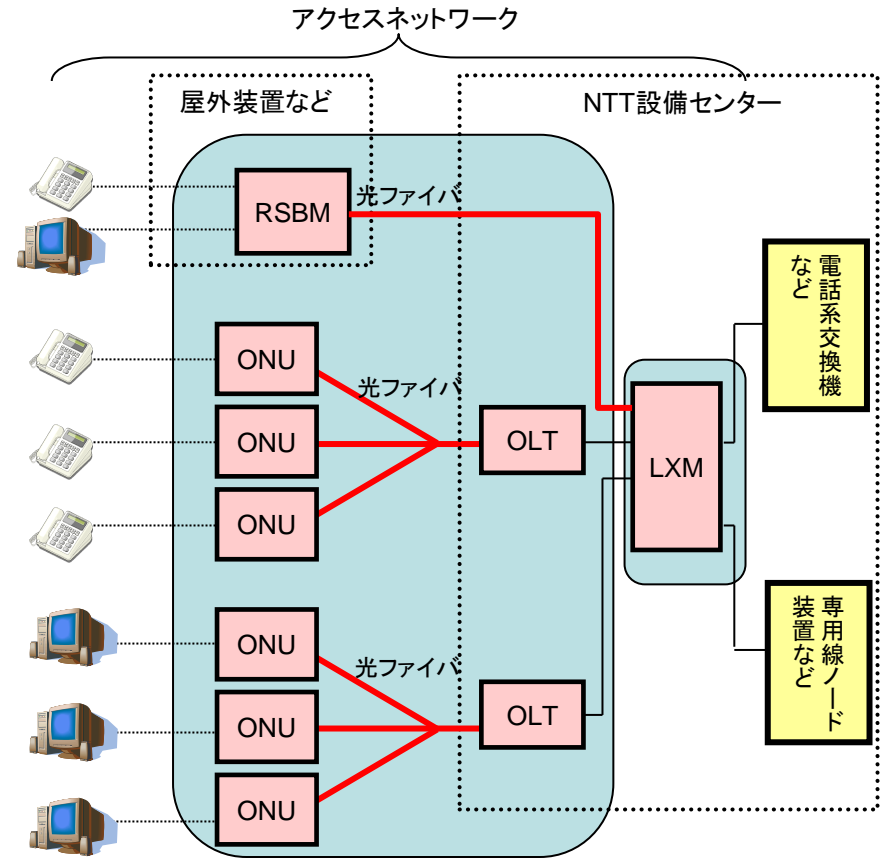


維持・高度化(アクセス)

将来の高速広帯域サービスへの対応、および老朽化したメタリック設備による電話サービスを更改するために、NTTでは、これまで光ファイバを用いたアクセスシステムの研究開発を世界に先駆けて進め、また、実運用システムとして導入を進めてきました。これらシステムは、現在、NTTのアクセスネットワークの基盤となっており、システムの安定した維持と高度化のための研究開発を進めています。

電話サービスの安定した維持のためには、すでに導入されたシステムの定期的な保守が必要です。これまで、導入されたすべてのシステムに対し、不具合や故障時のシステムの解析を行い、迅速な正常動作回復につなげています。

●アクセスネットワークの構成例



RSBM: Remote SuBscriber Module (屋外やユーザビル内に設置される光・電気信号変換装置)

ONU: Optical Network Unit (宅内、屋外に設置される光・電気信号変換装置)

OLT: Optical Line Terminal (設備センター内に設置される光・電気信号変換装置)

LXM: Line Cross Connect Module

(OLTなどの電話回線信号を交換機などのノードへ接続する装置)